

氏名	小野 廣
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 4195 号
学位授与の日付	平成19年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	歯科医師の就業状況と診療偶発事故
論文審査委員	教授 荻野 景規 教授 太田 吉夫 准教授 岸本 悦央

学位論文内容の要旨

歯科医療における診療偶発事故は、頻度は多くなくとも重大な事故に繋がる可能性があり、予防の重要性が指摘されている。厚生労働省も、2006年4月からの歯科医師臨床研修必修化に向けた体制整備に関する検討会の中で、歯科診療時の全身の偶発事故に適切に対応する能力を歯科医師臨床研修の到達目標に盛り込んだ。

診療偶発事故の実態については、いくつかの調査結果が報告されている。歯科診療時における異物誤嚥は、インレー、クラウン、コア等の鋳造物が多く、事故は鋳造物や技工物を口腔内で試しに適合させる試適中に多い事が報告されている。

医療者の属性を変えることはできないが、職場環境や設備あるいは人間関係のあり方には物理的・心理的に改善の余地がある。すなわち、どのような就業状況にある歯科医師に事故のリスクが高いかを検討することにより、診療偶発事故の予防対策を講じることが可能となる。しかし、歯科医師の診療体制、患者数、スタッフの人数等の就業状況と診療偶発事故との関連について実証的な報告は少ない。そこで、我々は香川県の歯科医師を対象として、歯科医師の就業状況と診療偶発事故経験の有無の関連を検討した。

論文審査結果の要旨

歯科医療における診療偶発事故予防策を講じることを目的に、歯科医師の就業状況と診療偶発事故経験の関連性を検討した。2004年2月、香川県歯科医師会の会員を対象に、質問票を送付し、歯科医師の就業状況と偶発事故経験の有無の情報を入手（回答率 53%）し、 χ^2 検定、ロジスティック解析を行った。結果は、1日あたりの患者数が40人以上では、25人以下と比べオッズ比が2.79倍(95%信頼区間:1.06-7.37)と高く、また逆に診療体制が3人以上だと1人に比べオッズ比が0.21倍(同:0.05-0.92)と低くなった。歯科医療における診療偶発事故を予防するためには、患者の多さ、1人診療体制といった要因を考慮する必要があることが示された。本研究は、歯科医療職場における診療偶発事故の要因とその予防策を検討したものであり、労働衛生学上価値あるものと認められる。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。